綜合病院山口赤十字病院

■病院データ

開設者	日本赤十字社　山口県支部長
病院長	名西　史夫（九州大学卒）
住　所	〒753-8519 山口県山口市八幡馬場53-1
ＴＥＬ・ＵＲＬ	083-923-0111　　http://www.yamaguchi-redcross.jp/
交　通	ＪＲ山口線上山口駅から徒歩5分
病床数	475床
診療科目	内科、消化器科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻咽喉科、気管食道科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、リハビリテーション科 （緩和ケア科）、（総合診療科）
診療科毎の常勤医師数（H26.4.1現在）	下表参照
患者数（H25年度）	1日平均入院患者数　383.8名　　1日平均外来患者数　741.8名
年間救急件数	10,413件（H25年度）
病院の特徴	山口赤十字病院は山口県央部に位置し、山口・防府二次医療圏に所属しています。県央、県北の基幹病院としてその役割を担い、山口県における公的病院で一番古い由緒ある病院です。年間約14万人の延べ患者が来られ、約4万人の延べがん患者を診察治療しております。総合病院として専門医が日夜診療に従事し、年間1,500件ほどの全身麻酔による手術を行い、がん治療では外来化学療法室を備え積極的に集学的がん治療に取り組んでいます。また緩和ケア病棟を有し、緩和医療の体制については入院、在宅部門ともに充実しています。そのほか、ＮＩＣＵを有し小児・周産期医療にも指導医のもと初期研修として診断・技術の習得を得ることが出来るよう体制を整えています。

診療科	医師数	診療科	医師数	診療科	医師数	診療科	医師数	診療科	医師数
内　科	12	神経科		脳神経外科	2	婦人科		放射線科	3
呼吸器科	(1)	神経内科	3	呼吸器外科		眼　科	1	麻酔科	4
消化器科	(5)	リウマチ科		心臓血管外科		耳鼻咽喉科	3	歯　科	
循環器科	2	外　科	8	小児外科		皮膚科	2	歯口腔外科	3
小児科	5	整形外科	5	産婦人科	6	泌尿器科	3	緩和ケア科	2
精神科		形成外科		産　科		リハビリ科		総合診療科	1

（　）は内科医の内数

院長コメント

院長：名西　史夫　　出身大学：九州大学
専門：内科（腎臓内科）

「山口で共に学び、働きませんか」

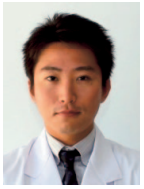
山口赤十字病院は明治16年に山口県病院として創設され、大正9年に日本赤十字社に移管された長い歴史を持つ病院です。現在、19の診療科、475床の病床を有する山口県央部の基幹病院として地域の方々の医療に携わっています。当院は、急性期を主体とした総合病院としての機能に加え、地域周産期母子医療センターや小児救急医療拠点病院として産科、小児科医療や地域がん診療連携拠点病院としてがん全般の治療や緩和ケア医療といった特色を有しています。臨床各科には、それぞれ豊富な経験と情熱を持った医師がおり、充実した臨床研修が可能な体制が備わっています。研修1年目の6ヶ月を過ごされる内科では、消化器（消化管、肝胆膵）、循環器、代謝内分泌、腎臓、呼吸器、膠原病、神経内科それぞれの専門医のもとで広く、また掘り下げた研修が可能です。救急部門は山口医療圏の2次救急病院として山口済生会病院、小郡第一総合病院との輪番制のなかで年間の約半分を担当しており豊富な症例を経験することが可能です。また、今年度から日本赤十字社和歌山医療センターでの3次救急の研修も開始されます。

外科系は年間1,500件ほどの全身麻酔手術を行い、各科それぞれが活気のあるハイレベルな診療を行っており、アットホームな雰囲気の中での充実した研修が可能です。もちろん、産婦人科、小児科、麻酔科、緩和ケア科をはじめ、すべての診療科での研修も可能です。当院は、赤十字の精神のもとあたたかな、信頼のおける医療を行い、地域の方々や、医療機関から選ばれる病院であることを目指しています。また、赤十字病院として国内の災害などに救護班を派遣しており、様々な救援活動に参加する機会もあります。山口市は古い文化と美しい自然に恵まれた文教都市で、臨床研修の時期を過ごされるには最適と思います。ぜひ、われわれの病院で臨床研修を行われることを心からお待ちしています。病院見学の希望などにつきましてはお気軽にご連絡下さい。

研修医コメント

2年目研修医：江川　知康
出身大学：九州大学

山口赤十字病院の臨床研修では、緩和ケアを含むほぼ全ての科がそろっているため、一般内科から専門分野まで幅広く勉強することができます。また救急科の研修では、関西圏で有数の症例数を誇る日赤和歌山医療センターのERで2ヶ月間研修することができ、これにより山口の2次救急と関西の3次救急を両方経験することができます。月4回の当直では指導医の先生に見守られながら、自ら診断・初期治療を行うことができるのも1つの強みです。1学年の研修医の数は2～6人と少数ですが、その分貴重な症例を担当する機会も多く、また各科の医師やコメディカルも含む病院関係者の方に顔を覚えて頂き、病院全体でアットホームな研修をさせて頂いております。多趣味な方も多く、プライベートでも様々なイベントに誘って頂き、オン・オフの切り替えもしっかりできます。フットワーク軽く、明るい研修をしたい皆さん、ぜひ山口赤十字病院で一緒に研修していきましょう。



■研修プログラム

プログラムの目的と特徴

綜合病院山口赤十字病院を基幹型とし、臨床研修協力病院、施設を中心に、説明と同意に基づく、良質で適正な医療が提供でき、医療の質の向上と安全管理に努力して地域住民から信頼される医療ができるように地域医療、プライマリ・ケアで必要とされる、保健、医療、福祉における基本的な臨床能力を身に付けることを目標とする。更にプライマリ・ケアの場面で実践可能な知識の集積と確実な技術の習得と同時に、医師としての倫理、コミュニケーション能力、インフォームド・コンセント能力を培っていくことも重要である。これらの基礎となるのが臨床研修期間であり、診療に関する基本的事柄を習得させることを最大の指針とする。

研　修スケジュール

山口赤十字病院　年間研修スケジュール(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内　科(必須)						救　急(必須)			選択必須科目*1		

*1選択必須科目は、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科のうち、2科を選択し、2～3ヶ月研修を実施。精神科は仁保病院で実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次	地域医療	選択診療科*2										

地域医療は、協力施設、病院等で実施

*2選択診療科は、内科、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、緩和ケア科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、皮膚科、神経内科、眼科、整形外科、放射線科のうち、研修医の将来専攻したい科にて11ヶ月研修を実施

※将来専門とする診療科を中心としたプログラムを作成可能、周産期医療、緩和ケアなどを選択可能である。

研修協力病院

医療法人仁保病院、医療生活協同組合健文会宇部協立病院、山口大学医学部附属病院、日本赤十字社和歌山医療センター　、山口県立総合医療センター

研修協力施設

(地域医療)萩市国民健康保険川上診療所、小野田赤十字病院、山口県の地域医療研修コース(萩・周防大島・下関(豊田)・長門・美祢)、山口県立こころの医療センター

指導医数

45名（うち指導医講習会受講者30名）(H26.4.1現在)

研修医数

1年次2名　2年次4名（うち基幹型　1年次1名　2年次2名）(H26.4.1現在)

募集要項

応募資格	H26年度　第109回医師国家試験合格見込みの者	選考方法	書類選考、面接
応募時期	H26年7月1日から	試験日程	受付後通知
病院見学	対象者：医学部5年生、6年生 見学日時：月曜から金曜の9時から17時、又は、3日実習も受け付けます。 申込方法：HP上の病院見学申込用紙に記入の上、郵送またはＦＡＸにてお申込みください。	採用予定人数	2名
研修医の処遇	身分　研修医(常勤嘱託) 給与　1年次：月35万円、2年次：月38万円 賞与　1年次：50万円／年、2年次：60万円／年 当直　月4回(給与とは別支給) 宿舎　有(単身用10戸　無い場合は当院規定による) 社会保険　公的医療保険：協会管掌健康保険、公的年金保険：厚生年金 労働者災害補償保険法の適用：有、国家・地方公務員災害補償法の適用：無、雇用保険：有 研修医室　有		

応募連絡先

綜合病院山口赤十字病院　人事課
〒753-8519　山口県山口市八幡馬場53-1　TEL：083-923-0111　FAX：083-925-1474
E-mail:boshuu@yamaguchi-redcross.jp

研修のアピールポイント

■指導(医)に自信がある　■医師の出身大学が多様である
■様々な手技が経験できる

研修責任者コメント

研修責任者：末兼　浩史　出身大学：九州大学
専門：内科・消化器

当院は総合病院として内科・外科・小児科・産婦人科部門をはじめ多岐にわたる分野で専門的な指導医のもと初期研修として救急、ﾌﾟﾗｲﾏﾘ･ｹｱから専門治療まで診断・治療の技術の習得ができるよう体制を整えています。

当院の各医局は分野間の垣根が低く、初期診療から専門領域まで皆協力分担して診療しており、少数精鋭で密度の濃い研修が可能です。commondiseaseから希少な難病・特定疾患まで豊富な症例群の治療が専門医指導のもとで経験可能で、的確な判断が要求される救急の場では一人で悩むことなく上級医にマンツーマンで相談し迅速な対応が可能です。総合病院としてすべての専門医師・医療スタッフの力を結集して、一人ひとりの患者さんの命に向き合い、看護師・薬剤師・臨床検査技師・放射線技師、理学療法士、栄養士等の医療スタッフにも恵まれ、職種を超えたチーム医療も盛んです。熱意をもって取り組めば色々な科のスタッフと顔の見えるやさしい交流が可能となり楽しい研修生活が送れるものと思います。

臨床の現場では、先ず人間学としての資質が問われます。医師としての技術を習得し的確な診断と治療を身につけることは先ずもって必要な条件ですが、十分条件として人として挨拶ができる、人の話を聴く、相手を思いやる心の育成、患者さんの訴え、悩み、目的に寄り添い家族・社会背景も考慮したチーム医療が提供できることなどを基本的に身につけなければいけません。研修期間中、フットワーク軽く、指導医のもとで研鑽に励んで下さい。研修プログラムも個々の研修医の皆さんと個別に相談して柔軟に対応したいと思います。研修医の皆さんの活躍は病院を元気にする活力源で指導医も最大限の努力をもって応えたいと思います。ぜひ、山口赤十字病院にて有意義な研修に励んでいただければと思います。

NICUでは熟練された医療チームが小さな命の輝きを見つめて大切に育んでいます。

基幹医療施設として地域の要請に応えその使命を果たします。